



2023年5月15日

各位

会社名 株式会社ヒガシマル
代表者 代表取締役社長 東 勤
(コード番号 2058)
問合せ先 常務取締役管理部長 松久保 稔
(TEL 099-273-3859)

減損損失の計上及び通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期連結決算において、減損損失を計上いたしました。また、2022年11月11日に公表いたしました2023年3月期の通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上

当社の連結子会社である株式会社ヤンバル琉宮水産において、「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、同社の保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、約1億17百万円の減損損失を「特別損失」として計上いたしました。

当減損処理を行うことによって将来の費用負担を軽減すると共に、今後の収益回復に向けた基盤づくりに努めてまいります。

また、当社の水産事業において、連結子会社における養殖事業の業績及び財政状況に鑑み、個別決算で、貸倒引当金繰入額を約1億48百万円計上いたしました。

なお、個別決算における連結子会社に係る貸倒引当金繰入額の計上は、連結決算上相殺消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

2. 業績予想と実績値の差異について

2023年3月期通期連結業績予想と実績値との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,977	百万円 23	百万円 101	百万円 51	円 銭 12.97
実績値(B)	11,724	△33	98	△75	△19.19
増減額(B-A)	△252	△56	△2	△126	
増減率(%)	△2.1	—	△2.5	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	11,286	205	360	3	0.81

2023年3月期通期個別業績予想と実績値との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,448	百万円 2	百万円 7	円 銭 1.78
実績値(B)	7,026	67	43	10.96
増減額(B-A)	△421	65	36	
増減率(%)	△5.7	—	515.2	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	6,578	213	92	23.68

3. 業績予想と実績値との差異の理由

通期連結業績につきましては、原材料価格ならびにエネルギー価格の高騰によるコスト上昇が継続していることや、魚類養殖子会社で高水温期に発生した病気が長期化したことによる収益の悪化などの影響により、営業利益は大きく予想を下回る結果となりました。

また、魚類養殖子会社における減損損失により、親会社株主に帰属する当期純利益についても大きく予想を下回る結果となりました。

通期個別業績につきましては、原材料価格ならびにエネルギー価格の高騰によるコスト上昇が継続しているものの、販売価格の見直しや経費削減などを行い収益改善に努めるとともに、為替差益や雑収入を計上し、経常利益と当期純利益は前回予想を上回りました。

以上